

## 文献

- 赤塚あさ子.(2012).急性期病院における新卒看護師の勤務継続上の困難要因と望む支援.第42回日本看護学会論文集 看護管理,pp14-17.
- 飯塚悠祐.(2012).用語の解説.INTENSIVIST End-of-life, 4.(1).pp7-16.
- 井部俊子,大生定義,宇都宮明美,他(2013).CNS の卓越した思考と実践を振り返る.看護管理,23.(1).pp1-9.
- 宇佐美しおり,野末香,片平好重,他.(2005).精神看護専門看護師の活動成果に関する研究.臨床看護,31.(11).へるす出版.pp1622-1631.
- 宇都宮明美.(2006).呼吸ケアチームの活動と現況と将来.人工呼吸, 23 (1),pp50-53.
- 宇都宮明美.(2009).急性期人工呼吸患者の家族へのメンタルサポート.呼吸器ケア,7.(3).pp73-77.
- 宇都宮明美.(2010).呼吸ケアチームの実績と専門看護師の活躍.看護,62 (8) .pp57-60.
- 宇都宮明美.(2012a).クリティカルケア領域での代理意思決定.家族看護,10 (1). pp40-47.
- 宇都宮明美.(2012b).専門看護師の臨床推論 患者の「ふみとどまる力」を支える.看護管理,22.(2). pp144-147.
- 宇都宮明美.(2013).専門看護師の臨床推論 人工呼吸器離脱困難者が歩行する.看護管理,23.(4).pp302-306.
- 大江理英.(2008). クリティカルケアの場に在る人々との協働. 看護学雑誌,(74)4,pp292-296.
- 岡崎美晴,江口秀子,吾妻知美,他.(2014).チーム医療を実践している看護師が多職種と連携・協働する上で大切にしている行為—テキストマイニングによる自由記述の分析—.甲南女子大学研究紀要,(8).pp1-11.
- 亀井智子(2014). 高度な看護実践を支えるチームビルディング力育成プログラム.  
<http://www.igaku-shoin.co.jp/nwsprr/pdf/3077.pdf> (2014-06-28)
- 北村愛子.(2009a).専門看護師の役割開発と臨床判断.平成21年版看護白書,日本看護協会出版会 .pp63-72.
- 北村愛子.(2009b). せん妄患者を受け持つ看護師のストレスとコラボレーションプラクティス. 看護技術,(55) .1.pp40-45.

- 北村愛子.(2011).チーム医療のありかたと看護師に期待される役割.看護展望,36.(1).pp15-21.
- 北村愛子.(2013). 組織が「変革したい」と思うことに CNS だからこそ取り組む. 看護,(65).14.pp99-103.
- 厚生労働省医政局長.(2009). <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/05/dl/s0512-6h.pdf>  
(2014-06-28)
- 小高芙美,松本静香,山本ちあき.(2013).倫理カンファレンスを通して患者・家族の意思尊重  
することができた一症例.第 43 回日本看護協会論文集 看護総合.pp139-142
- 近藤やよい,蔵屋敷美紀,高間静子.(2014).看護師の人口学的背景からみた患者権利尊重の  
傾向.第 44 回日本看護学会論文集看護管理,pp249-252.
- 篠田道子.(2011).多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル,医学書  
院.pp52-58.
- 杉田久子.(2006).集中治療室におけるチーム医療に対する看護師の認識,クリティカルケア  
看護学会誌,(1)3,pp35-45.
- 関島康雄.(2008). チームビルディングの技術 みんなを本気にさせるマネジメントの基本,  
日本経団連出版. pp20-64.
- 諏訪部章.(2009).【チーム医療と臨床検査 チーム医療ネットワーク 臨床検査関連企業の  
支援】 チーム医療とは?. 臨床病理レビュー特集, (144).pp1~2.
- 高橋章子.(2005).生命の危機状態にある患者家族の理解と援助.家族看護,3.(2).pp6-11.
- 高橋誠.(1984).問題解決手法の知識,日本経済新聞出版社.pp15-64.
- 高見沢恵美子,江川幸二(編集),山勢博彰(編集).(2013).患者・家族の倫理的課題と看護  
介入.看護のためのクリティカルケア場面の問題解決ガイド,三輪書店.pp52-61
- 高見紀子.(2013).専門看護師の臨床推論 子どものいる患者家族の強みを引き出す支援.看  
護管理,23.(2) .pp132-136.
- 瀧口千枝,井上智子,佐々木吉子.(2013).人工呼吸器装着患者の管理における看護師の多職  
種チーム調整機能の構造.クリティカルケア看護学会誌,(9)3.pp1-12.
- 武村雪絵.(2014).コンピテンシーとは.看護管理に活かすコンピテンシー.メヂカルフレ  
ンド社,pp1-6
- チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集.(2010).  
[http://www.jascs.jp/researchpaper/201106team\\_iryuu.pdf](http://www.jascs.jp/researchpaper/201106team_iryuu.pdf)(2015-01-04)

- チームビルディングプログラム推進委員会(2014). チームビルディング力育成プログラム  
成果報告書. <http://www.slcn.ac.jp/graduate/teambuilding/seikahoukoku.pdf>  
(2014-06-28)
- 虎の門病院看護部.(2013).コンピテンシー〈概念化思考〉.看護管理者のコンピテンシー・  
モデル開発から運用まで.医学書院,pp75-78
- 中西睦子.(1977). チーム医療における医師—看護婦関係. 看護,(29)5. pp6-12.
- 日本看護協会.(2012)専門看護師制度 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns>  
(2014-06-28)
- 日本集中治療医学会.(2011).集中治療領域における終末期患者家族のこころのケア指針.  
<http://www.jsicm.org/pdf/110606syumathu.pdf> (2015-01-25)
- 日本集中治療医学会.(2011).集中治療に携わる看護師の倫理綱領.看護部倫理ワーキンググ  
ループ.<http://www.jsicm.org/pdf/110606syutyu.pdf>(2015-1-25)
- 日本集中治療医学会,日本救急医学会,日本循環器医学会.(2014).救急・集中治療における終  
末期医療に関するガイドライン～3学会からの提言～  
<http://www.jsicm.org/pdf/1guidelines1410.pdf> (2015-1-25)
- 長谷川久巳.(2010). チーム医療における専門看護師・認定看護師の役割. 共済医報,(59)2,  
pp165-167.
- 長谷川久巳.(2012).専門看護師の臨床推論 残された時間のコーディネーション.看護管  
理,22(7).pp582-585.
- 長谷川久巳.(2013).専門看護師の臨床推論 CNS が決断した最良の方策は主治医の交代だ  
った.看護管理,23.(10).pp894-900.
- 林千穂,大井潤子,谷本栄子,他.(2012).チーム医療における看護師の調整役割-主任看護師に  
焦点を当てて-.第42回日本看護学会論文集 看護教育.pp200-203
- 日沖健.(2013).社会人のための問題解決力,産業能率大学出版部.1-34.pp166-176.
- 東めぐみ.(2009).看護師が経験を積むということ.看護リフレクション入門,ライフサポー  
ト社.pp13-22
- 細田満和子.(2012).「チーム医療」とは何か 医療とケアに生かす社会学からのアプローチ.  
日本看護協会出版, pp12-17.
- 堀公俊, 加藤彰, 加留部貴行.(2007). チーム・ビルディング—人と人を「つなぐ」技法 :  
ファシリテーション・スキルズ,日本経済新聞出版社. pp10-19.pp24-30.

- 本間道子.(2011).集団の形成と発達集団行動の心理学—ダイナミックな社会関係のなかで,  
サイエンス社. (セレクション社会心理学,26),pp28-32
- 安田妙子.(2006).精神看護専門看護師のコンサルテーションにおける援助内容—ナースへのインタビュー調査から.精神科看護.33.(1).pp49-55.
- 山内桂子.(2012).チーム医療とコミュニケーションスキル.JIM,22(3)pp190-193.
- 山勢博彰.(2006).重症・救急患者家族のニードとコーピングに関する構造モデルの開発—ニードとコーピングの推移の特徴から.日本看護研究学会雑誌,29(2),pp95-101.
- 山勢善江,江川幸二 (編集) ,山勢博彰 (編集) .(2013).看護師のジレンマ.看護のためのクリティカルケア場面の問題解決ガイド,三輪書店.pp62-69
- 山田雅子,西信一,宇都宮明美.(2010).今だからこそ専門看護師の活動を再確認したい [急性・重症患者看護編] 4.看護管理,20(9).pp835-841.
- 吉田博(2002).『問題の整理と解決の方法 HY 法』.産能大学出版部刊,pp2-27.
- Davidson,J.E.,Karen Powers, Kamyar M. Hedayat.et al.(2007). Clinical practice guidelines for support of the family in the patient-centered intensive care unit. American College of Critical Care Medicine Task Force 2004-2005. Critical Care Medicine.35.(2),pp605-622
- Hanson,M.C.,Judith.A.S. & Hamric.B.A. (2009) .Collaboration.Advanced Practice Nursing: An Integrative Approach.,Amsterdam.Saunders,pp299-327
- Hamric.B.A.,Judith.A.S. & Hanson,M.C.(2009) .Ethical Decision Making.Advanced Practice Nursing: An Integrative Approach, .Amsterdam.Saunders,pp328-358
- Mihael,A.W, 下山晴彦(監), 高橋美保(訳).(2014).チームワークの心理学.東京大学出版会.pp1-18,pp233-253.
- Stephen, P.R, 高木晴夫(翻訳).(2009). 第8章”チーム”を理解する 新版 組織行動のマネジメント:入門から実践へ,ダイヤモンド社.pp197-224.